

当院のシンボルマークは、患者さまに対する「まごころ」を漢字の「心」で表現しています。

# まごころ

MAGOKORO



地方独立行政法人

## 下関市立市民病院

SHIMONOSEKI CITY HOSPITAL

2018年 冬号 vol.20



▲手術部・麻酔科では、多職種一丸となりチーム医療を提供しています。

### 特集 「麻酔科」のご紹介

がん診療コーナー がん治療（がん薬物療法認定薬剤師より）

お知らせ「地域医療連携の会」を開催しました！ほかも

もっと知りたい 視能訓練士

地域の絆 古賀耳鼻咽喉科医院

医療法人 葵同仁会 林クリニック

2018.2.15 下関市立市民病院広報年報委員会発行

下関市立市民病院

#### 基本理念

安心の優しい医療を提供し、  
市民から信頼される病院を目指します

#### 基本方針

- 市民のニーズに応じた最善の医療を提供します。
- 重点診療項目として、悪性疾患、救急及び生活習慣病に取り組みます。
- 安定した健全な病院経営を目指します。

特集

# 「麻酔科」のご紹介

## 麻酔科ってどんな診療科だろう？



手術という大きなライフイベントを迎える患者さまのみならずご家族の方も、より安心して入院、麻酔、手術、回復といった周術期をお過ごしいただけるよう、麻酔科及び手術部は日々取り組んでおります。



麻酔科医長 平田 孝夫

### 麻酔科ってどんな診療科なの？

多くの手術では体にメスがはいると、痛みと大きなストレスを伴います。そこで、痛みを感じなくさせ、ストレスから患者さまの体を守ることが、麻酔の役割です。

痛みとストレスは、手術後の回復にも大きな影響を与えることがあります。そこで、痛みを感じなくさせ、ストレスから患者さまの体を守ることが、麻酔の役割です。



全身のどこに痛み刺激を与えても感じなくなる麻酔が「全身麻酔」、身体の一部のみが痛み刺激を感じなくなる麻酔が「局所麻酔」です。

麻酔科の役割は、第一に手術を安全に行えるように手術中の患者さまの全身状態を日常に維持することです。そして、手術前後の患者さまの全身状態を良好に維持・管理するために細心の注意を払って診療を行っています。



### 手術中

#### 麻酔の安全性

麻酔や手術中には強い作用を持つ薬を用いることや、全身状態に影響を与える処置を行うことがあります。

どのような麻酔や手術でも100%安全と断言できませんが、1999年から2003年までの5年間に麻酔科専門医の勤務する病院で行われた手術500万例を日本麻酔科学会が調査したところ、手術中におきた偶発症例による死亡は1万例に対し6.78例でした。また麻酔が原因で手術中に死亡する率は0.10例で、およそ10万例に1例という報告がされました。

そのため手術前の全身状態が麻酔と比較して手術中の危険性を高めることが示唆されています。



## ★ わが国の麻酔科領域で大きな貢献を果たした日本人たち ★

### 10月13日は「麻酔の日」

#### 世界初を成し遂げた はなおか せい しゅう 華岡 青洲

西暦1804年10月13日、江戸時代の日本で世界初の「全身麻酔」による乳がん摘出手術が成功しました。偉業を成し遂げた日本人医師の名は「華岡 青洲」。

西洋での成功例は日本に遅れること約40年、1846年アメリカのウィリアム・グリーン・モートンのエーテルを使った全身麻酔下の手術です。

華岡青洲の成功はまさに世界初、全例のない素晴らしいものであったことから日本麻酔科学会がこの日を「麻酔の日」と制定しました。

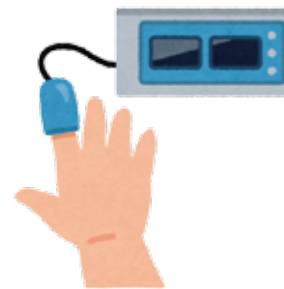


#### パルスオキシメータの発明者 あおやぎ たくお 青柳 卓雄

パルスオキシメータとは、血液に含まれる酸素飽和度を測定する装置です。言い換えれば、どれだけ酸素を赤血球に取り込んでいるかが採血しなくてもわかる医療器具です。

その原理は波長の異なる2種類の光（赤外線と赤色光）を当てると、酸素と結合している赤血球は赤外光を吸収し、酸素と結合していない赤血球は赤色光を吸収します。この光の吸収の違いから全赤血球に対し酸素と結合した赤血球の割合を計算したものが酸素飽和度です。

1972年12月、この原理をみつけたのが「青柳卓雄」でした。その後、臨床の現場で麻酔の安全確保とパルスオキシメータの使用を普及させたのは1980年代のことです。パルスオキシメータは手術室内にとどまらず、世界中で日々膨大な数の安全を見守っています。近代麻酔科学に世界的な貢献を果たした日本人は数多くいますが、その中でも「麻酔の安全」へ与えた世界的な貢献を考えるとパルスオキシメータの原理の発見は特記に値します。



## 下関市立市民病院の 麻酔科

麻酔の安全性は日々の医学の進歩とともに向上しています。

当院麻酔科では、多くの職員とともに手術という大きなライフイベントを迎える患者さまが、より安全に手術を受けられ、より快適に術前・術後をお過ごしいただくよう取り組んでおります。



▲ 左から ながはた 長畑 医師長・ ひらた 平田 医師長・ はい 裴 医師

(出典)

○公益社団法人日本麻酔科学会ホームページ

○麻酔の偉人たち

— 麻酔科学史に刻まれた人々 —

編著) JROGER MALTBY

訳) 菊池 博達・岩瀬 良範



いつもは特定のがんについて治療法などを紹介するこのコーナーですが、今回は当院の薬剤師のがん治療への関わりについて紹介させていただきます。

### 薬剤師の関わり

薬剤師のがん治療での業務は大きく分けるとレジメン(治療計画書)作成、抗がん剤投与前の準備・調製、患者指導・副作用対策の実施になります。

レジメン作成は主に「がん薬物療法認定薬剤師」が担当します。臨床試験の結果や論文などで、有効性や安全性を確認し、投与量、投与時間など支持療法を含めて作成します。当院の「がん化学療法委員会」で審査・承認されたものをレジメンオーダーにも登録します。

登録したレジメンを実際に使用する

時には患者毎に投与計画書が提出されるため、投与量の調節が必要ないかを確認します。投与予定の抗がん剤の準備は薬剤師全員が当番制で担当しています。当日、抗がん剤の調製も輪番制で行います。

患者さまには投与前にスケジュールや副作用の説明を、入院の場合は病棟担当薬剤師、外来は認定薬剤師が担当して実施し、投与後の副作用のモニタリングも行います。

### チーム医療

チーム医療への参画も大事な業務になります。

最近では、がん化学療法を実施している患者さまに薬剤師外来を実施し、副作用に対する薬物治療や抗がん剤の減量・休薬などの提案を行っている施設も多くなってきています。当院ではまだ全面的な実施はできて

いませんが、一部の薬剤を使用している患者さまに対しての実施を始めました。

また、新たな治療薬として注目されているものに免疫チェックポイント阻害剤がありますが、いろいろな癌に対して使用できるようになってきて、投与対象の患者さまが増えています。この薬は、副作用が今までのものとは異なり、自己免疫疾患様の症状が出るため、主治医だけではなく多科連携・多職種連携での対応が必要で、当院でもチームを編成し、対応を協議しています。

このように、ますますチーム医療の重要性が増してきていますので、今後もチーム医療に貢献できるよう頑張りたいと思います。

がん薬物療法認定薬剤師  
<薬剤部主任> 平岡 ひろ子

### 【連載 エッセイ】

## 医療相談室 病診連携室

### 患者さまの生活を支える

### 地域連携

昨今の医療の進歩は、超高齢化社会を促進し、がんや難病も致命的な病気ではなくなり、老いや病気と折り合いをつけながら暮らす時代となりました。

急性期病院には、「生活を支える医療」の展開が求められています。目指すは、「生活の再構築」です。入院治療は、はじめから、退院して再び生活ができることを目的とします。退院後の生活を見据えた医療の提供です。

しかし、急性期病院だけでなくどうにかなるものではありません。そこで、入院時から、介護や福祉、在宅医療といった多くの関係機関や関係職種と連携し、退院の際には、協働体制を取ります。場合によっては、転院ということも検討します。その先の生活を想定した目的をもった転院です。

この地域連携における窓口と調整を担当しているのが、医療相談室・病診連携室です。坂井副院長の下、看護師3名と医療ソーシャルワーカー4名が所属しています。

私たちが生活者としての感覚を大切にし、患者さまに心を寄せ、ご家族を思い、関係機関・関係職種の方と包括的なチームを組み、同じ方向を向いて、患者さまのサポートができる地域連携を目指したいと思っております。

もちろん、患者さまが退院されたらそれで終わりではありません。その後は、外来スタッフが加わり、病気と付き合いながら生活する患者さまを支援していきたいと思えます。

関係機関・関係職種の皆さま、どうぞよろしくお願い致します。



医療相談室 室長  
病診連携室 室長補佐  
かねこ けいこ  
金子 佳子

# 「平成29年度 下関市立市民病院 地域医療連携の会」 を開催しました！



平成29年11月22日(水)、「地域医療連携の会」を開催しました。  
日頃からお世話になっている登録医の先生方、医療関係者の皆さまをお招きし、更なる連携強化を図るため、2部構成で開催しました。

第1部は、当院診療科の取り組みや、認定看護師の活動などについてのご紹介をさせていただき、第2部の懇親会では、料理を交えながら意見交換を行いました。

当院スタッフを含め150名を超える方々にご参加いただきました。日頃は、電話や書類での対応が主であり、なかなか顔を合わせる機会も少ないため大変貴重な親睦を深める時間となりました。

今後も「地域医療支援病院」として、下関地域の医療機関との更なる連携および地域医療支援を一層強化し、市民の皆さまにより良い医療を提供できるよう努力を続けてまいります。



▲(上) 第1部の様子  
(下) 認定看護師の紹介

## 「顔の見える連携交流会」を開催しています！

当院では今年度より、下関市内の「訪問看護ステーション」「居宅介護支援事業所」「地域包括支援センター」の職員の方々にお集まりいただき、「顔の見える連携交流会」を定期的に開催しています。

交流会ではお互いに知識や交流を深める中で、貴重なご意見も数多くいただき、非常に有意義な会となっております。

これからも連携を密にし、患者さまが安心して退院後の生活を送れるよう努めてまいります。



## 「市民公開講座」を開催しました！

平成30年1月27日(土)、「平成29年度 第3回市民公開講座」を開催しました。  
“肝がんについて”と題し、当院消化器外科部長の<sup>おおたにかずひろ</sup>大谷和広による講演を行いました。

当日は、大変寒い中、およそ80名の方にご参加いただき、ありがとうございました。



## 「新任医師」のご紹介



【腎臓内科】  
たなか ひろすみ  
医師 田中 洋澄

平成29年11月より着任しました腎臓内科の田中洋澄と申します。

平成23年4月から平成25年3月までの間、当院に勤務し、様々なことを学ばせていただきました。

今回、再び縁がありまして赴任することとなり、また地域の皆さまのためにお力になれることを嬉しく思います。

頑張って参りますので、どうぞよろしくお願い致します。

当院で働く職員を紹介します。

もっと  
知り  
たい。

視能訓練士

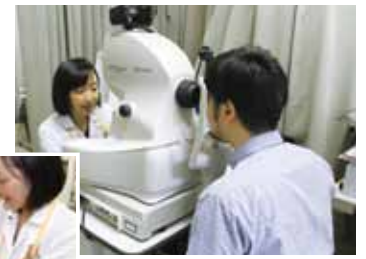


視能訓練士  
かわの きよみ  
河野 清美

「視能訓練士」の主な仕事内容を  
教えてください。

医師の指示の下、視力検査、視野検査、メガネ処方などの検査、眼底写真撮影など、眼科診療に関わる視機能全般を行います。また、視機能の育ちの弱いお子さんの訓練や、病気などで視機能が十分に回復していない方に必要な補助具（拡大鏡など）の選定や、使い方の指導（\*ロービジョンケア）をします。

（\*…視覚に障害があるため生活に何らかの支障を来している人に対する医療的、福祉的、心理的等すべての支援の総称）



▲（上）正確な検査結果が出るよう努めています。（左下）見難い患者さまのために手作りグッズの作成などを提案しています。

「視能訓練士」を目指した  
きっかけは何ですか？

私は子供の頃、左眼の視力が育っていない「弱視」であったため、眼科に通院していました。その時に検査してくれたのが視能訓練士さんだったことを学生時代に知り、視能訓練士という職業に興味をもったのがきっかけです。

仕事をしていく上で大切に  
していることは何ですか？

医師から指示がでた検査を漠然と行うのではなく、何のためにするのか、自分のだした検査結果から何が導かれるのかを常に考えながら、正確な検査ができるように努めています。また、患者さまの見えにくさからくる困り事を見逃さないよう、聞

き逃さないように、目と耳、そして心にアンテナを立て、日々患者さまに接しています。

「眼科外来」は、どんな職場  
ですか？

優しく穏やかな雰囲気、石村眼科部長を中心に、和気あいあいとした外来です。眼科スタッフ一同、患者さまに優しく笑顔で接するよう心がけています。また、時間の許す範囲で、患者さまの言葉に耳を傾けるようにし、お待たせしている患者さまへの声かけも大切にしています。

休日の過ごし方や、最近ハマって  
いることを教えてください。

「ロービジョン」についてさらにスキルアップしたいと考えており、ロービジョン関連の勉強会があれば参加したり、有志で勉強会を開催しています。

また、歌うことが好きで、レッスンに通っています。今年、ライブに挑戦したいと思っています。



▲「優しく笑顔で」をモットーに、一丸となつて頑張っています。

認定看護師  
だより  
Vol.18



認知症看護  
認定看護師

はやし くにあつ  
林 邦厚

2025年には人口の4分の1にあたる団塊世代の方々が75歳以上となり、ますます高齢化が進みます。高齢化が進むと認知症の罹患率は上昇します。当院では各病棟に認知症看護に関する研修を受けたスタッフを2名以上配置しています。認知機能のスクリーニングを行い、対象となる患者さまには看護計画を立案し個別に支援しています。

認知症サポート医と認知症看護認定看護師の回診も週に1度あり、病棟看護師と、混乱の強い方への対応方法や薬剤の調整を話し合っており、適切な医療をうけられること、スムーズに在宅や病院施設へ帰れること、安心した生活がおくれることを目指しています。



# 地域の絆

当院と連携している医療機関等を紹介します。  
登録医の先生と当院とは、患者さまの病状に合わせた治療が行えるよう、密接な関係をつくっています。

下関市立市民病院 病診連携室

電話：083-224-3860 FAX：083-224-3861

## 古賀耳鼻咽喉科医院

院長 こが いくひこ 古賀 郁彦 先生



私は、現在地（西大坪町了円寺前）で開業し42年になりますが、その間、市民病院耳鼻咽喉科には数多くの患者をご紹介させて頂き、特に平俊明先生には大変お世話になりました。この紙面をお借りして心より感謝と御礼を申し上げます。

元来、耳鼻科は外科系で、私の先輩達は開業する場合にはベッドをかかえ積極的に手術をしておりましたが、耳鼻科領域の手術はリスク（出血、ショック）が高いなどの理由でメスから離れる傾向になりました。そのぶん紹介するチャンスも増えたのではないかと思います。私も開業当初メスを離れるのを嫌って、5ベッドをつくり細々扁桃、副鼻腔炎等のオペを局所麻酔でやっておりました。しかし、やはり耳鼻科は個人開業医で手術をする時代ではないと10年間できっぱりやめました。

御依頼するケースは、喉頭癌等の悪性腫瘍、習慣性扁桃炎、慢性副鼻腔炎、真珠腫性中耳炎、声帯ポリープ、呼吸困難をきたす危険な喉頭蓋膿瘍、入院を要する鼻出血、突発性難聴、めまい、摘出困難な咽喉頭異物、食道異物等です。特に当番医の場合休日にもかかわらずオンコールで引き受けて頂くこともあり大変助かっております。遠方の大学病院まで行かなくてよいため患者も大変助かっていると思います。これからも引き続き、厄介な患者をお願いすると思っておりますが何卒宜しくお願い申し上げます。

〒750-0054 下関市西大坪町7-3 TEL：083-231-7788 <耳鼻咽喉科、気管食道科>  
月～金：9：00～12：30、14：30～18：00（月：午前は11：20迄、木：休診）土：9：00～13：00迄

## 医療法人 葵同仁会 林クリニック

院長 はやし まさあき 林 政明 先生

下関市立市民病院の先生方、病診連携室並びに関係者の方々には、平素より大変お世話になっております。急患の入院や手術の患者さんを快く引き受けていただき、感謝いたしております。

当院は2001年6月に開業し、今年で18年目になります。私は、山大脳外科に入局後、山大附属病院、山口労災病院、国立山口病院(今の済生会豊浦病院)に各2回ずつ勤務し、脳外科の手術に明け暮れ、(昔は今と違って、脳梗塞の患者さんもすべて脳外科が引き受けていましたので)多忙な日々を過ごしていました。

開業してからは、ようやく少し自分の時間が持てるようになり、趣味の園芸で気分転換を図っています。しかし、年々数が増えてきて、初めての患者さんの中には林クリニックを探していて、花屋さんかと思って通り過ぎたと言う人も2、3人いました(苦笑)。去年は見事なバラが咲き、たくさんの患者さんに花で癒やされると喜んでいただきました。今年も5月に満開のバラが咲くのを、楽しみにしています。

開業してからは、脳卒中の患者さんの早期診断と入院手配、退院後のケアが主になりましたが、介護保険にも発足当初から深く関わっており、認知症の患者さんの介護申請や主治医意見書を得意としています。臨床内科専門医の資格も2回更新し、3年前から、訪問診療も始めました。退院後、通院困難な患者さんがおられましたら、是非、ご紹介ください。よろしく申し上げます。CT検査は予約なしで撮れますので、気軽にご紹介ください。今後とも、微力ながら、地域医療のお役に立てるよう、精進して参りますので、何卒よろしくごお願い申し上げます。

〒752-0916 下関市王司上町4-2-20 TEL：083-248-0255 <脳神経外科、内科、リハビリテーション科> 月～土：9：00～12：30、14：00～18：30（木・土：午前のみ）



# 外来診療のご案内

2018年2月1日現在 (※)…非常勤医師

診療科	曜日	月	火	水	木	金
内科・消化器内科		具嶋 正樹/村田 征喜	山口 敢	具嶋 正樹	山口 敢	村田 征喜
内科・呼吸器内科		川端 宏樹(※)				花香 哲也(※)
内科・循環器内科		金子 武生/與田 俊介	金子 武生	安田 潮人	辛島 詠士	辛島 詠士/與田 俊介
禁煙外来(午後・予約制)				金子 武生		
内科・腎臓内科			坂井 尚二 中村 亜輝子	荒瀬 北斗(※)	坂井 尚二 午前:田中 洋澄/午後:吉村 潤子(※)	前田 大登(※)
内科・血液内科			久保 安孝		久保 安孝	
内科 リウマチ膠原病内科		大田 俊一郎 柏戸 佑介(※)		大田 俊一郎 真弓 武仁(※)(午後)	福元 遼(※)	大田 俊一郎 真弓 武仁(※)(午後)
糖尿病内分泌代謝内科(午前中)			相良 理香子(※)(糖尿病内科のみ)			
内科・胆膵外来		五十嵐 久人		五十嵐 久人		
神経内科(午前中・予約制)				本田 真也(※)		
精神科				中津 勇紀(※)		
消化管内視鏡		山口 敢	具嶋 正樹/村田 征喜	山口 敢	具嶋 正樹/村田 征喜	具嶋 正樹
胃透視			具嶋 正樹	村田 征喜		山口 敢
心臓血管外科			上野 安孝/元松 祐馬		上野 安孝/栗栖 和宏	
外科	午前	牧野 一郎 宮竹 英志	石光 寿幸 中原 千尋	大谷 和広 宮竹 英志	江口 大樹	石光 寿幸 大谷 和広
	午後	院長外来 (院外紹介)	乳腺外来 石光 寿幸 奥村 幹夫		ストーマ外来(第2第4)	乳腺外来 ストーマ外来(新患)第2第4 石光 寿幸
呼吸器・感染症外来(呼吸器外科)		吉田 順一	吉田 順一	吉田 順一	吉田 順一	吉田 順一
呼吸器腫瘍センター(呼吸器外科)			井上 政昭		井上 政昭/小山 倫太郎	井上 政昭(予約のみ)
小児外科		福原 雅弘(要相談)		福原 雅弘/九大派遣医師		
脳神経外科		中村 隆治/尾中 貞夫	中村 隆治/岩城 克馬	中村 隆治/尾中 貞夫		中村 隆治/尾中 貞夫 岩城 克馬(午後)
整形外科	再診	白澤 建藏 鶴居 亮輔(新患/再来)	渡邊 哲也/古川 真(新患/再来) 藤井 勇輝	山下 彰久	原田 岳/橋川 和弘	野村 裕/杉 修造
	新患	橋川 和弘	野村 裕	白澤 建藏(紹介状必要) 原田 岳(紹介状必要) 藤井 勇輝	山下 彰久 杉 修造	渡邊 哲也 喜多 正孝(※)
泌尿科	一診(初診)	吉弘 悟	松隈 悠	吉弘 悟	松隈 悠	吉弘 悟
	二診(予約のみ)	松隈 悠	吉弘 悟	松隈 悠	吉弘 悟	松隈 悠
眼科		石村 良嗣	石村 良嗣(午前中)	石村 良嗣	石村 良嗣(午前中)	石村 良嗣
放射線診断科			箕田 俊文			
放射線治療科		有賀 美佐子	有賀 美佐子	有賀 美佐子	有賀 美佐子(午前のみ)	有賀 美佐子
小児科	午前	河野 祥二/岡田 裕介	河原 典子(※)	岡田 裕介	河原 典子(※)	東 良紘(※)/岡田 裕介
	予約制		永田 良隆(新患)	河野 祥二		永田 良隆(再診)
	午後		河原 典子(※)/河野 祥二		河原 典子(※)/岡田 裕介	
	予約制			河野 祥二/岡田 裕介		永田 良隆 河野 祥二
産婦人科	午前	前田 博敬	川崎 憲欣	前田 博敬	前田 博敬	川崎 憲欣
	二診	川崎 憲欣(第2・第4のみ)		川崎 憲欣	前原 佳奈(※)	
	午後	母乳外来(予約制)	母乳外来(予約制) 母親学級(第2・第3)	母乳外来(予約制)	母乳外来(予約制)	母乳外来(予約制)
疼痛外来 ペインクリニック内科		藤原 義樹		藤原 義樹		藤原 義樹
皮膚科		内田 寛 午後の外来は13~14時受付	内田 寛	内田 寛 午後の外来は13~14時受付	内田 寛 午後:手術	内田 寛 午後の外来は13~14時受付
耳鼻咽喉科		平 俊明 伊藤 彩(※)	平 俊明 齊藤 雄一	平 俊明 伊藤 彩(※)	平 俊明 齊藤 雄一	平 俊明 齊藤 雄一
歯科・歯科口腔外科		上原 雅隆 入学 陽一(※)(予約のみ)	上原 雅隆 長畑 佐和子	上原 雅隆 高橋 理(※)	上原 雅隆 長畑 佐和子	上原 雅隆 入学 陽一(※)(予約のみ)
緩和ケア外来						牧野 一郎/午前中(予約制)
救急科(午前・午後)		中原 千尋/奥村 幹夫	尾中 貞夫	中原 千尋/江口 大樹	中原 千尋/尾中 貞夫	奥村 幹夫

◆糖尿病教室(要予約:内科外来にお問い合わせください。)

◆ペースメーカー外来(内科外来:要予約) 毎月第2月曜日13:00~15:00(第2月曜日が休日の場合は第3月曜日)

◆渡航外来(要予約)



地方独立行政法人

下関市立市民病院

SHIMONOSEKI CITY HOSPITAL

〒750-8520 下関市向洋町一丁目13番1号

TEL:(083)231-4111(代表) FAX:(083)224-3838

ホームページアドレス <http://shimonosekicity-hosp.jp/>

病診連携室(紹介予約) 専用TEL:(083)224-3860 専用FAX:(083)224-3861

禁煙外来を行っています。当院は敷地内禁煙です。ご協力をお願いします。